

健康で心豊かな地域づくり

たかす

第155号

平成26年6月25日



千種町鷹巣自治会

人の寿命は百二十歳

「脊椎動物の寿命からすると、人間は百二十ないし百四十四歳まで生きられるはず」と歯科医寺川国秀さんはおっしゃる。

脊椎動物は、大人になるまでに費やした歳月の五倍から六倍生きられる、といわれる。では、人間はどうだろう。

人間の成長過程は、歯の成長過程そのものだから、歯を調べると明らかになるとのこと。

幼児は三歳までに乳歯が生えそろう、六歳までこの歯で食べる。六歳すなわち小学校入学の年になると、奥に第一大臼歯が出てくる。最初の大人の歯。

十二歳、中学校入学の年に第二大臼歯が生える。

十八歳、高校卒業のころ第三大臼歯、いわゆる親不知が出る。

そして二十四歳、大学医学部卒業、文化系ならマスターコース

終了のときに、アゴの関節が石灰化してすっかり出来上がり、完全な大人になるんだそうです。

人間は、このように六年周期で成長していき、成人に達するまでに二十四年の歳月がかかることがわかります。

その五倍から六倍生きられるというのだから、人間の寿命は百二十ないし百四十四歳ということになる。しかし現実には長寿で世界的に知られる日本人でもそこまで生きれないのはなぜ？
(以下次号へ)

鷹巣は、いま？

自治会告知板

鷹巣自治会長 村上 一郎

四月に前自治会長さんから任務を引き継いでより、アツと言う間に三か月が過ぎようとしています。そして、沢山の用事が次から次へと続き、多忙な毎日を送っております。

気が付けばとくに田植えも終り、すでに梅雨入りして蒸し暑い日が続いています。また、四月から消費税が上がり、私たちの生活に影響が出始めております。

そんな中、自治会役員さんをはじめ、活性化委員会や、各団体の皆様方におかれては、自治会活動に対して色々のご支援・ご協力を賜りまして、有難く心から感謝申し上げます。時には手違いでご迷惑もおかけしていることと思いますが、どうかお許しください。

さて、夏至も過ぎいよいよ暑い盛りとなります。例年の如く七月八月と言えば、リサイクル活動・クリーン作戦、旧盆行事等々、ムラを挙げての取り組み行事が目白押しにやって参ります。その都度隣保長さん、活性化委員会の皆さん、各団体の皆さんを通じてご協力をお願いすることとなりますが、その節は宜しくご支援のほどをお願いいたします。

鷹巣の活性化事業につきましても、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。梅雨の時季とて天候不順の中、体調管理には十分注意し、熱中症等にかからないよう、健康で

元気にこの夏を乗り切ってください。お祈りします。

活性化委員会日誌

鷹巣活性化委員長

金本 秀夫

本格的な梅雨のシーズンになりましたが、皆様方におかれましては、田植えも終り一息付いておられる頃かと存じます。

日頃は活性化委員会活動に何かとご支援を賜り、有難く厚く御礼申し上げます。

さて、大変遅れておりました旧東小の改築工事もやっと終り六月一日から各施設の使用が出来るようになりました。多目的ホールに厨房が新設され、約五十名収容できるレストランが誕生しました。幸いにも、食器等は従来のもの他に、旧波賀学校給食センターより大量の食器を譲り受けることができました。同時に、旧パソコンルームに男女別のシャワールームが六室新設され、お風呂の代役が可能となりました。

又、すべての教室には簡易用畳を敷くことができ、ゆっくりにお休みいただけるものと思っております。こうして、宿泊施設が整い、最初のお客様として、六月七日

宍粟市の紹介で兵庫県国際交流協会から世界十四か国の留学生が三五名、スタッフとともに泊まりに来てくれました。

昼間は村上広基さん指導のもと、蒲原の田圃に黒豆の苗を定植しました。夜は宍粟市から福元市長を迎えバーベキューで交流会が行われました。地元からも自治会長をはじめ十五名が「おもてなし」役として参加し大変盛り上がり一夜を過ごすことができました、翌日、留学生達も喜んで帰っていただくことができました。たかのす東小跡地が世界交流の場になるなんて思いも寄らぬことだけに、本当に嬉しく誇りにさえ感じております。

今年もすでに宿泊の予約を沢山頂いておりますが、皆様のご家庭でもお盆等で帰省されるお子様や大勢のお客様があった場合、又、学校の同窓会等にご利用いただければ、きつとご満足いただけるものと確信しております。宿泊の予約は藤原誠さんが受付しておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

引き続き皆様のご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、暑さ厳しくなりますので、お身体に気をつけてお過ごし下さいませようお祈りいたします。